

平成18年度 指定管理者年度総合評価表

1. 指定管理者

施設名	母子生活支援施設 小菊荘
指定管理者名	社会福祉法人 八戸市社会福祉事業団
指定期間	平成18年 4月 1日 ~ 平成21年 3月31日
施設概要	〔所在地〕 八戸市根城五丁目4番9号 〔設置目的〕 母子家庭、またはこれに準ずる事情のある女性および子どもを入所させて保護し、自立ができるように生活を支援する 〔構造〕 鉄筋コンクリート造2階建 1104.72㎡ 〔運営方針〕 母子の健全なる社会的自立実現のため、個々の生活を尊重しつつ、母親に対しては「社会的自立の支援・精神的自立への支援」、子どもに対しては「心身ともに健全で調和のとれた育成」あわせて退所した者に対しては「相談その他の支援」を目指す
指定管理者の業務	①運営に関する業務 ②施設、設備等の維持管理に関する業務 ③その他市長が必要と認める業務

評価は◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪いの4段階です。

2. 管理運営状況

(1) 管理状況

指標	評価	評価に対する説明
勤務時間 (フレックスタイム制)	○	入所者へのサービス向上の努めた ・相談日を設け、自立支援に努めた ・母子の家庭生活への助言指導がなされた
法令の順守	○	関係法令が遵守されている ・児童福祉法、八戸市母子生活支援施設条例及び施行規則等が遵守されている
適正な人員配置	◎	適正な人員配置が行われている ・業務基準書で示した以上の人員及び資格者を配置し、個別対応に努めた
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されている ・最低賃金等の労働関係法令が遵守されている
職員の教育・研修	◎	従事者の教育や研修が積極的に行われている ・DV及び虐待関係の知識を高める研修に多く参加している ・研修結果が支援に反映されている
緊急事態の対応	○	事故、災害等の緊急事態に対する対応(準備)が良くできている ・月1回テーマを変えて避難訓練を実施している ・不審者対応訓練は派出所署員と連携して実施している
文書の管理保存	○	作成、受領した文書の適切な管理がなされている ・業務日誌・当直日誌等整然と管理されている
報告書等の提出	○	業務・事業報告書、その他報告等の提出や内容が適切であった ・各種報告書が遅滞なく行われ、内容も適切であった
口座管理、経理の区分	○	指定管理者の収支は専用口座で管理されている ・施設ごとに適正に処理されている
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	○	賠償問題なし
付保する保険	○	協定書で指定する損害保険に加入している ・社会福祉施設賠償責任保険に加入している
指定管理開始前における準備	○	指定管理開始時、業務の引継ぎを適切に行った ・業務開始時の混乱はほとんどなかった
重要事項の変更の届出	○	重要事項の変更なし
施設、設備の保守管理	◎	施設、設備の保守管理(点検や修繕)を適切に行った ・施設、設備の保守管理を問題なく行った ・ボランティアによる適切な修繕が実施できた
備品の管理	○	備品の管理(点検や修繕等)を適切に行った ・備品の管理を問題なく行った。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、宿直業務、その他必要な管理業務を適切に行った。 ・宿直業務はシルバー人材センターに委託し、業務日誌により実施状況を確認した

(2) 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
就労支援事業状況	○	関係機関との連携を組んで対応した ・入所者の希望も考慮した求人情報を提供した ・自立支援計画票を作成し、達成度を確認しながら再評価して支援した
母子支援事業状況	◎	安心して就労できるよう、支援を実施した ・日・祝日勤務者の児の預かり保育を実施した ・母健康不良時の児の見守りを実施した
相談事業状況	○	生活指導が適切に対応できるよう努めた ・遅番勤務日を設けている
保護業務状況	◎	八戸市に住所のある母子等の緊急入所者の保護を適切にした ・平成18年7月25日より県の一時保護受託 ・保護件数 3件
母子保護業務状況	○	配偶者からの暴力被害者の保護等を適切に対応した ・入所者の心の安定を図りながら適切に支援を実施した
学習指導業務状況	○	学習意欲を高めるよう支援した ・学校と連携を取りながら実施した ・徐々に学習室の利用者が増加した
健康管理状況	◎	病気の予防及び看護に努めた ・日々の視診を大切にしながら、年2回の健康診断を実施した ・母に代わり通院代行を実施した
その他の取り組み	○	入所者同士の交流に努めた ・毎月1回常会を実施し、入所者及び職員の共通理解を深めた ・子ども会を組織し生活目標を設定させることにより、やや自主性がみられた

(3) 収支状況

指標	評価	評価に対する説明
指定管理業務の支出状況	○	収入 指定管理料 28,646千円 支出 26,841,218円

(4) その他

指標	評価	評価に対する説明
入所者満足度	○	入所者満足度を調査及びその結果を活かす仕組みがある ・アンケートを実施する
苦情・要望	○	苦情・要望等を聞く仕組みや対応が適切だった ・施設内に意見箱を設置しているほか、常会を利用している ・入所者へ苦情解決委員会第三者委員について常会で周知した
個人情報の保護	○	個人情報保護要綱を策定している ・情報収集、利用、提供に当っては本人の同意を得ている ・個人情報の破棄はシュレッダー処理している
情報公開	○	公開請求なし
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られている ・秘密保持義務については、随時留意を促した
環境への配慮	○	環境に配慮した物品を購入し、省エネに取り組んでいる ・環境に配慮した物品購入を実施している ・施設のごみを分別し、可能なものはリサイクルに回している

3. 指定管理者による自己評価

(1) 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 18年度中自立による退所6世帯（そのうち年度中に入所し、退所した世帯は3世帯） 在所期間 11年5ヶ月（1世帯） 5年10ヶ月（1世帯）4年3ヶ月（1世帯） 長期間入所者の退所にあわせ、入所時より短期間で自立を目標にし退所に結びついた。 ・ 根城老人クラブとの交流を設け、入所者・子どもとの交流を図った。 ・ 危機対応として、SBI子ども希望財団様からの寄付により、小菊荘玄関防犯カメラ、1階共有部分へのセンサーを取付、夜間警備体制を強化した。 ・ 指定管理者として1年目の平成18年度は、初めての事務的手続きに不慣れなこともあり、担当課の適切な助言指導により、四半期報告・収支報告も滞ることなく、速やかに行うことができた。2年目の19年度は、指定管理者としての更なる自覚と、他の関係機関との連携を図り、入所者のサービス向上に努めたい。 一方で、福祉施設という特性を考えると、入所者の安定継続した処遇を維持することを第一として考えるならば、数年毎に経営者が変わる可能性のある指定管理者制度は福祉施設にはあてはまるのだろうか。
(2) 今後の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今までより一段上の危機対応を考える。 ・ 子ども達が安心して育っていける、環境づくりに努める。（居室内安全衛生点検の見直し等） ・ 就労支援に努め無職者を無くする。

4. 市（所管課）の総合評価（子ども家庭課）

(1) 評価	<p>様々な問題を抱えた母子の自立を目的とした施設のため、指定管理者の努力が結果に直結しない難しさがある。関係機関との連携や研修参加等により、入所者へのサービス向上に努力している姿は評価できる。</p>
(2) 立入検査	<p>———</p>
(3) 指導事項等	<p>特になし</p>